

竹ヶ島海域公園自然再生事業

令和3年10月1日(金)
徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課

1

対象地域：徳島県

再生課題：サンゴ群集の再生



- 協議会事務局
海陽町
- 対象地域
徳島県海部郡海陽町
(室戸阿南海岸国定公園)
- 協議会：H17. 9. 9 設立
- 全体構想：H18. 3. 31 策定
- 実施計画：H23. 7. 29 策定
(R3. 4現在)



たけがしまかいいいきこうえんしぜんさいせいきょうぎかい
竹ヶ島海域公園自然再生協議会

**再生
目標**

エダミドリイシが健全な状態で生き続けていける環境を取り戻すことを目指す。



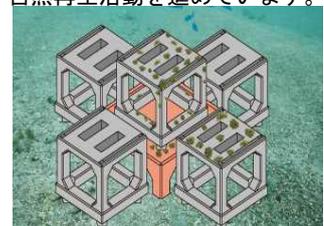
阿波竹ヶ島海域公園は、徳島県と高知県の県境に位置し、黒潮分岐流の影響を受け、透明度が高く、鮮やかな緑色のエダミドリイシの大群集やシコロサンゴなどの生物群集が織りなし、美しい海中景観を形成しています。

しかし、湾入口部への防波堤等の整備により湾内静穏度の向上が図れたものの、外海水との交流量が減少し、透明度が低下しています。

このため、協議会においてやま・かわ・うみのエリアにおいて自然再生活動を進めています。

自然再生の手法

- エダミドリイシの特性把握
- 海域公園周辺の環境改善
- 陸域からの環境負荷の軽減
- 地域の多様な主体の参加と連携による取り組み
- 海域公園と共生する地域漁業の活性化



移植観察フィールドの設置イメージ

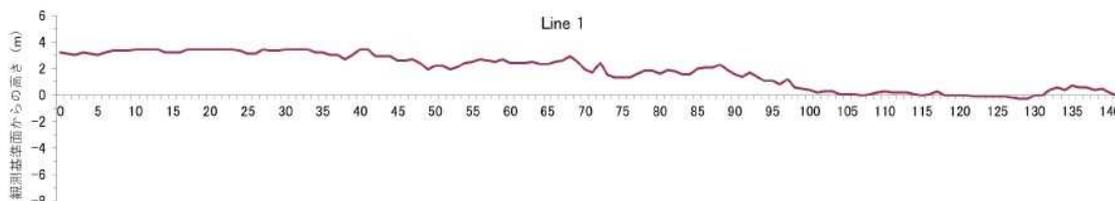
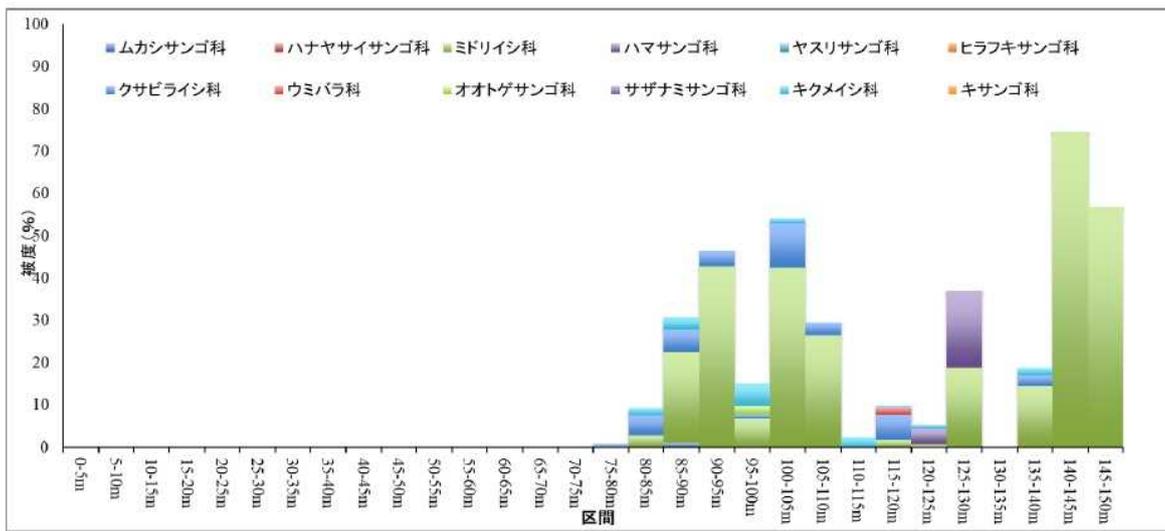
2

令和2年度実施 ライン調査について

平成17年度、平成25年度との比較



Line 1





Line1_95 m 左側 (2013 年)



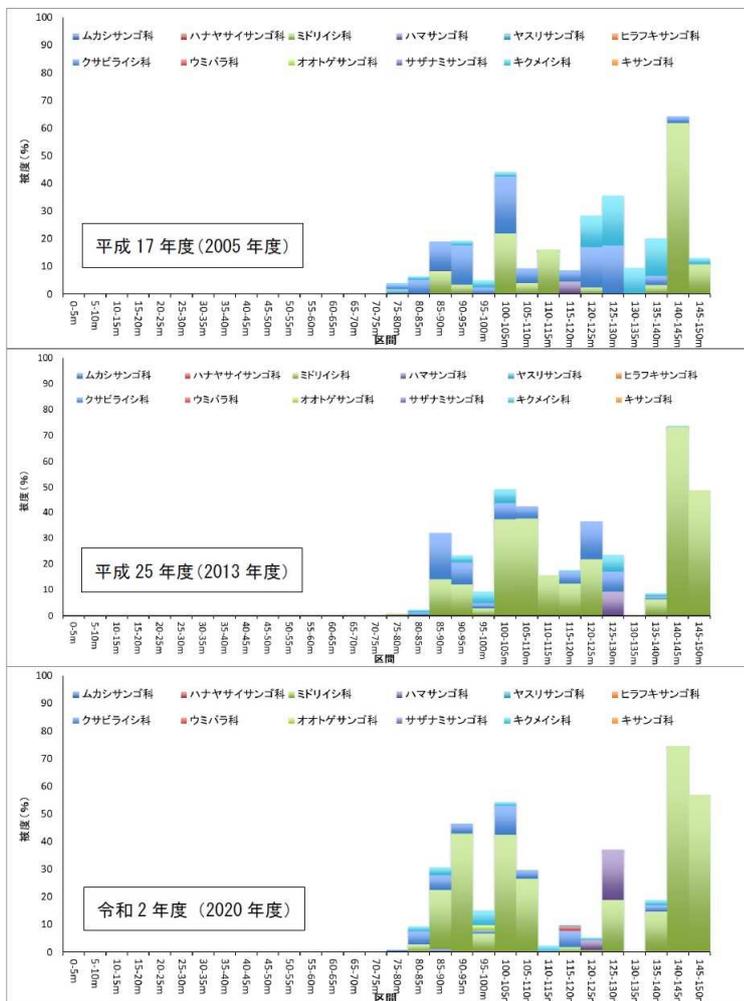
Line 1_95m 左側 (2020 年)



Line 1_140 m 左側 (2013 年)



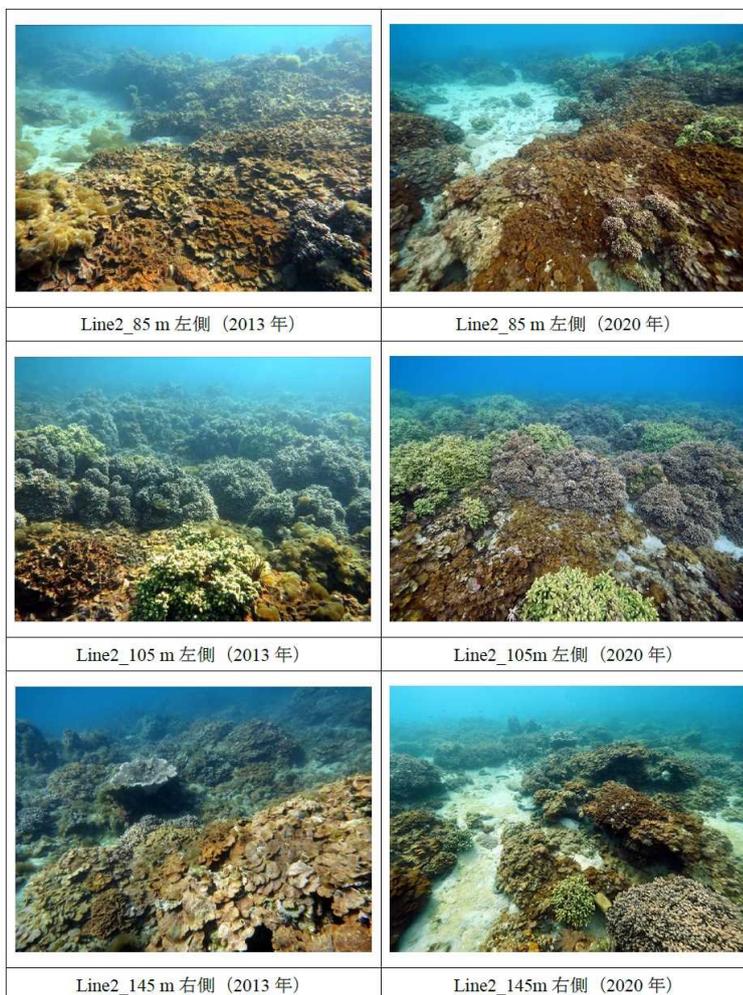
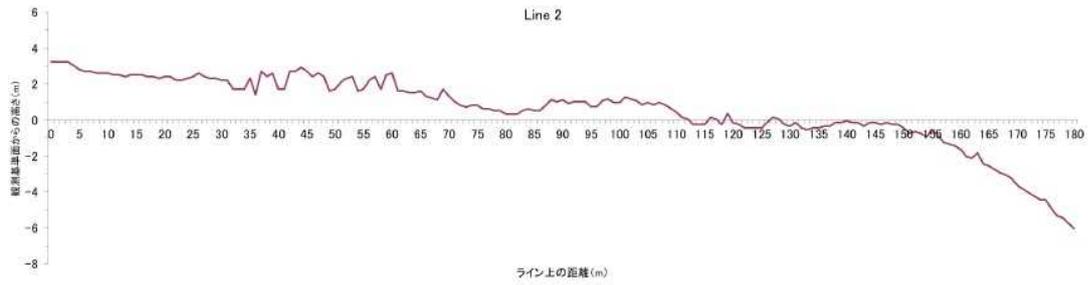
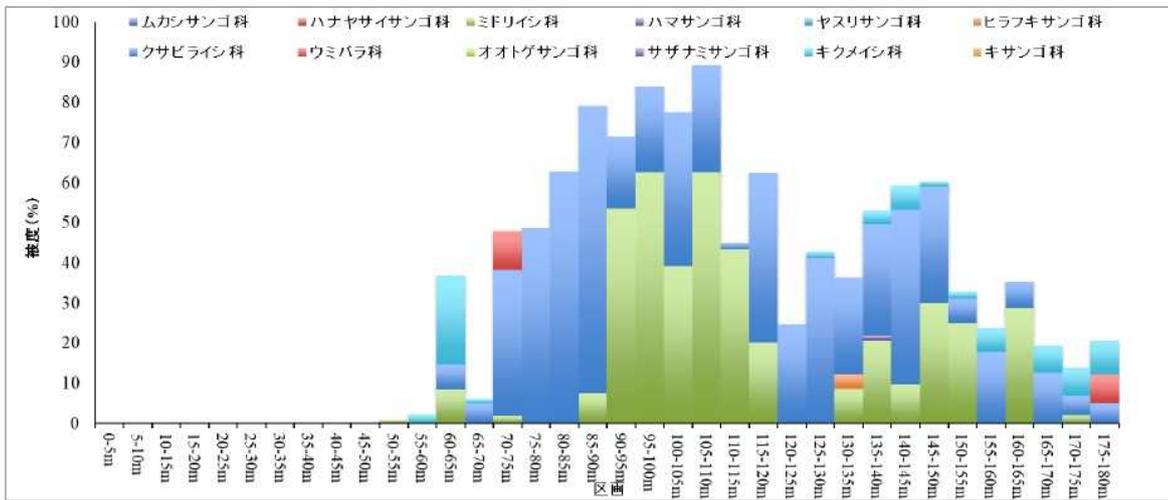
Line 1_140 m 左側 (2020 年)

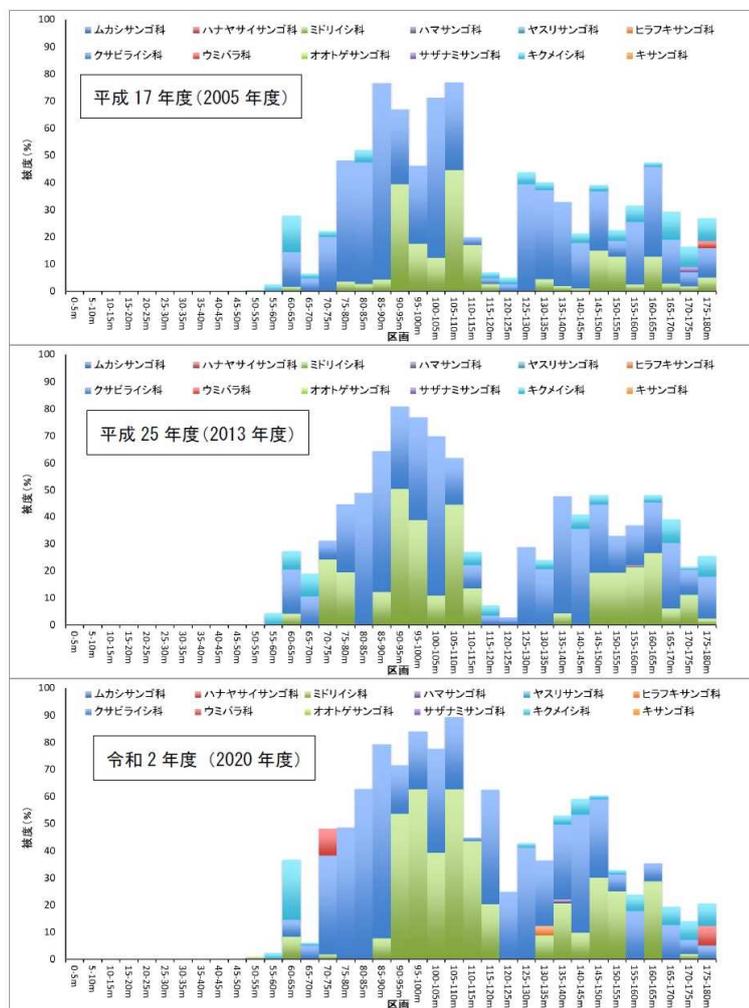


○Line1の比較

- ・サンゴ被度を比較した結果、50m～100m区間で被度が4.2%増加し、100m～150m区間で被度が2.8%減少。
- ・測線全体としては、被度が0.2%増加。
- ・50m～100m区間では、カワラサンゴが減った一方、エダミドリイシの被度が顕著に増加。
- ・110m～150m区間では、特に110m～125m区間でサンゴが減少したが、それ以外でエダミドリイシが増えたことで、区間全体の被度の減少は軽微。

Line2

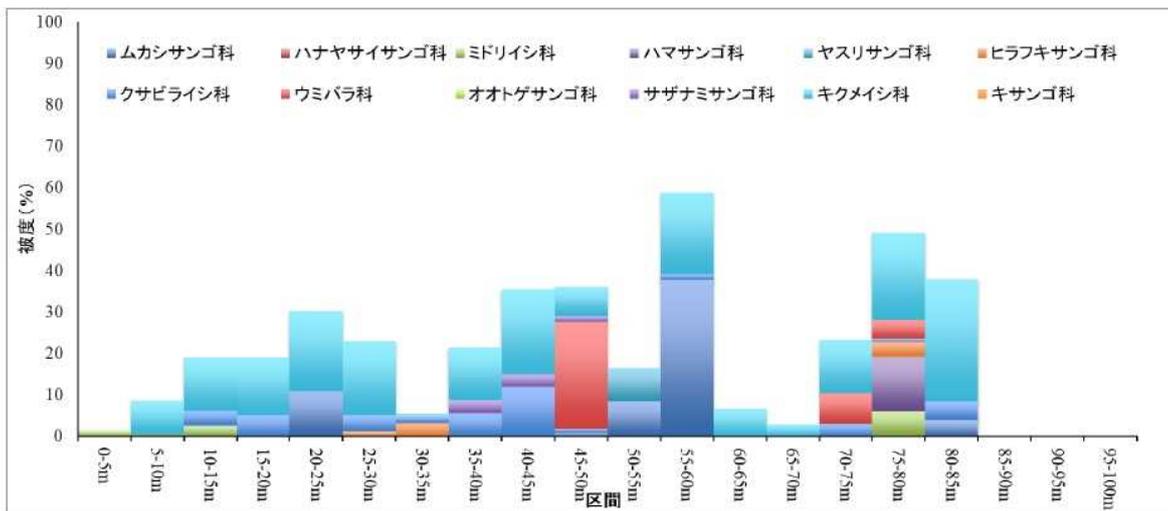




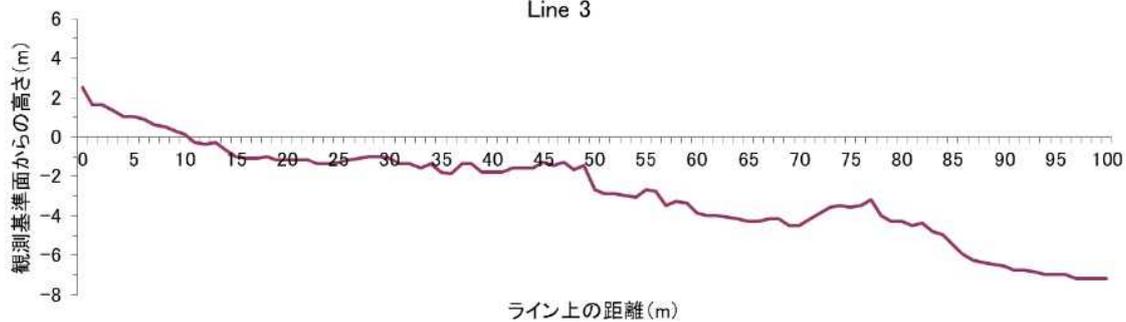
○Line2の比較

- ・50m～100m区間で被度が3.5%、100m～150m区間で被度が19.3%それぞれ増加。
- ・150m～180m区間で被度が9.6%減少したが、全体では被度が4.9%増加。
- ・平成25年度と比較して、90mまでのミドリイシ科は減少したが、95m～115m区間ではエダミドリイシは増加。
- ・全体的にエダミドリイシの増加で、ミドリイシ科のサンゴが増加。

Line3



Line 3





Line3_40 m 右側 (2013 年)



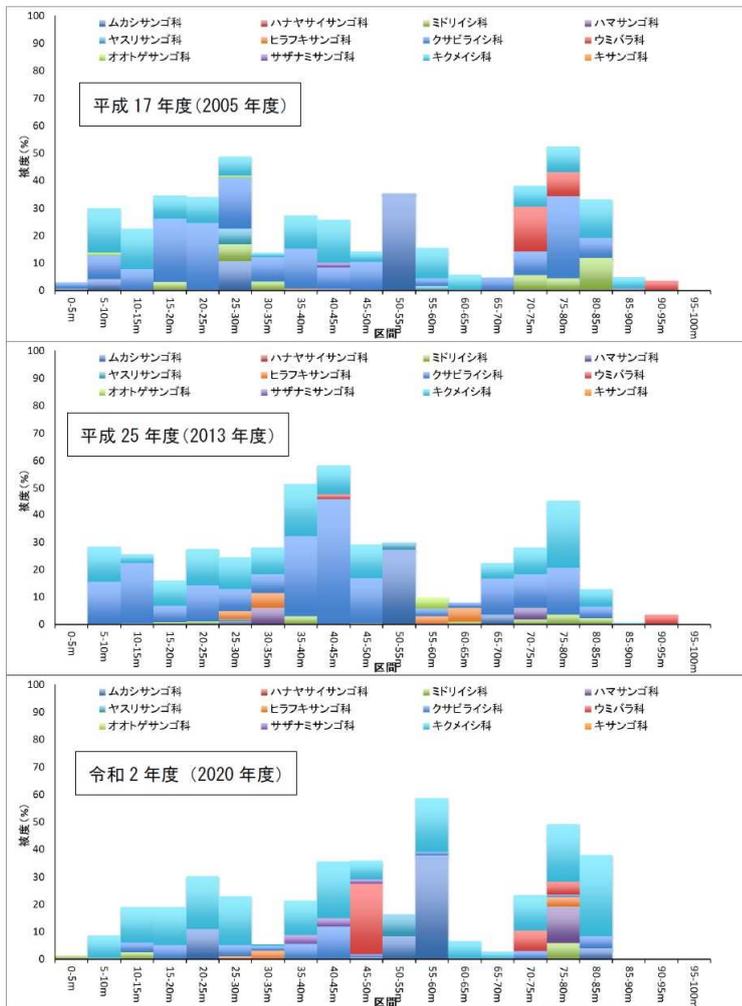
Line 1_40 m 右側 (2020 年)



Line3_80 m 左側 (2013 年)



Line3_80 m 左側 (2020 年)



○Line3の比較

- ・0m～50m区間で被度が8.9%減少し、50m～100m区間で被度が3.4%増加。
 - ・測線全体の被度が2.5%減少。
 - ・Line1、Line2は被度が増加したが、Line3のみ被度が減少。
-

○今後の課題

- ・予算確保